

(様式第1号)

## 新規調査研究計画書（全体計画）

|                              |   |
|------------------------------|---|
| 調査研究課題                       | 茨城県内におけるリケッチア保有マダニの浸潤状況の解明  |
| 計画期間                         | 令和2年度～7年度 6年間   |
| 背景<br>必要性                    | <p>リケッチア感染症は、治療の遅れにより重症化しやすく、毎年死亡例がみられる。本県では、日本紅斑熱が平成30年に県内で初めて発生し、翌年に初の死亡例も報告された。これまで発生件数は少ないが今後も継続的に発生する恐れがあることから注意喚起が必要である。</p> <p>本県ではこれまでリケッチア保有マダニの実態は明らかにされていない。マダニの分布を調べ、リケッチアの保有率を明らかにすることはリケッチア感染症の対策を考える上で重要であることから、リケッチア保有マダニの実態を解明する必要がある。</p> |
| 目的                           | 県内に生息するマダニの種類、分布及び保有するリケッチアについて実態を解明し、リケッチア感染症の未然防止及び早期診断・早期治療に寄与することを目的とする。  |
| 計画内容                         | 県内数カ所でマダニを採取予定である。採取したマダニは、形態学的に種を同定し、保有するリケッチアをリアルタイムPCR法により検出する。検出されたリケッチアは、シーケンサーによる遺伝子解析から種の同定を行う。各地域のリケッチア浸潤状況を明らかにし、それらを広く県内に情報提供を行う。   |
| 研究目標<br>(達成しようとする成果及びその活用方法) | マダニの種類、分布及び保有するリケッチアを明らかにすることにより、情報提供および提言を行い、患者発生の防止及び早期診断・治療に寄与する。  |
| 実施上の課題及び対応                   |   |
| 備考                           |   |

## 事前評価結果報告書

令和 2 年 1 月 2 4 日

| 調査研究課題        |  | 茨城県内におけるリケッチア保有マダニの浸潤状況の解明   |    |
|---------------|--|--|----|
| 評価項目          | 評価   | 意見   | 備考 |
| ①必要性          | 5, 5, 5, 5,<br>5, 5, 5<br><br>平均評価点<br>5.0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>リケッチア疾患や SFTS などの地域疫学には不明な点が多く、その解明は重要である。</li> <li>他の研究テーマとの関連性もあり、また県内での分布状況を把握することは社会的・行政的に重要である。</li> <li>リケッチア感染症は治療の遅れにより重症化し、死亡例も見られることから極めて重要な課題である。</li> <li>身近で県民の生活に関わる問題で必要性が高い。</li> <li>県内での発生例が稀であり、研究を進め注意喚起に繋げる必要がある、適切である。</li> </ul> |    |
| ②目的の適合性       | 5, 5, 5, 5,<br>5, 5, 4<br><br>平均評価点<br>4.9 | <ul style="list-style-type: none"> <li>ダニ媒介性感染症の報告が多くなってきており、茨城県でも重要な課題である。</li> <li>茨城県でも日本紅斑熱の発生が認められたことを考慮すると、衛生研究所が行うにふさわしい研究である。</li> <li>全国的にも本研究に類似した内容の研究は衛生研究所が主体となって行っており、研究は適合していると考えられる。</li> <li>家畜あるいは野生動物とも関連があるテーマだと思うので、関連部局とも十分な情報交換を行ってほしい。</li> </ul>                      |    |
| ③計画内容等の妥当性    | 5, 5, 4, 4,<br>4, 4, 4<br><br>平均評価点<br>4.3 | <ul style="list-style-type: none"> <li>研究機器はすでに所有しており、研究計画も現実的である。</li> <li>マダニの採取法に工夫が要すると思われるが、計画内容は妥当である。</li> <li>妥当である。何年かにわたり経時変化も含めての検体採取と分析が必要と考える。</li> </ul>   |    |
| ④目標の達成及び活用可能性 | 5, 5, 5, 5,<br>5, 5, 4<br><br>平均評価点<br>4.9 | <ul style="list-style-type: none"> <li>マダニの捕獲数にもよるが、研究計画を見る限り目標の達成は可能であると考ええる。</li> <li>現在の所有機器と技術で目標が達成できる。成果は、情報提供、防止活動に役立つ。</li> <li>地域ごとの該当疾患のリスク評価が可能になるため、各地域でデータの有効活用が期待される。</li> </ul>   |    |
| ⑤総合評価         | 5, 5, 5, 5,<br>5, 5, 5<br><br>平均評価点<br>5.0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>リケッチア疾患や SFTS などの地域疫学には不明な点が多く、その解明に行政が介入するのは極めて重要であると考ええる。</li> <li>リケッチア感染症予防として有効な研究であり、県内での分布が明らかになれば、県民への啓発活動にもつながり衛生研究所で</li> </ul>   |    |

|  |  |   |  |      |  |
|--|--|---|--|------|--|
|  |  | <p>の実施が必要な内容である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他県の衛生研究所との情報交換ができると、予防対策にさらに役立つと期待される。</li> </ul> |  |      |  |
| <p>⑥計画実施の評価</p> <p>A：実施相当</p> <p>B:計画を見直し<br/>実施相当</p> <p>C：実施不可相当</p> | <p>A：7人</p> <p>B：</p> <p>C：</p>  |   |  |      |  |
|  | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">最終評価</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;"> <p>評価の理由や助言等</p> <p>(評価「B」の場合は見直しを要する事項)</p> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> A    B    C         </td> </tr> </table> |   |  | 最終評価 | <p>評価の理由や助言等</p> <p>(評価「B」の場合は見直しを要する事項)</p> |
| 最終評価   | <p>評価の理由や助言等</p> <p>(評価「B」の場合は見直しを要する事項)</p>   |   |  |      |  |
| <input checked="" type="checkbox"/> A    B    C                        |  |   |  |      |  |

評価点 1：不良    2：やや不良    3：普通    4：やや良好    5：良好